

【CAN私立大学コンソーシアム結成20周年】

CAN私立大学コンソーシアムとは、中部大学、愛知学院大学、南山大学の3校の図書館で結成された図書館活動のコンソーシアムで、「できることをできるところから(CAN)」をキャッチフレーズに活動しています。

そのCANは、2020年で結成20周年を迎え共同事業も増えていくことでしょう。

利用方法は、中部大学と南山大学の図書館に直接来館して利用する方法と借りたい資料を郵送で送ってもらう方法とあります。直接来館する際は、本学の学生証が必要ですのでご注意ください。

20 YEARS ANINIVERSARY CAN私立大学コンソーシアム20周年に寄せて

YEARS
ANINIVERSARY

CAN私立大学コンソーシアムとは
“できることをできるところから (CAN:キャン)”
をキャッチフレーズに中部大学、愛知学院大学、南山大学の3校
によって結成された図書館活動のコンソーシアムです。
今年、20周年を迎えることができ、3校の図書館長よりお祝いの
言葉をいただきました。



CANマスコットキャラクター
キャンちゃん

中部大学附属三浦記念図書館
図書館長 足達義則

CAN私立大学コンソーシアム20周年、誠におめでとうございます。CAN活動のきっかけは、東海地区での集まりの雑談から始まったと伺っています。人と人が顔を突き合わせて、雑談することがままならない時代になりましたが、1つの大学で全てを揃えることが容易でなくなった現代、CANにおける活動がますます発展し、それぞれの大学の強みや特徴を生かした取り組みが進み、CANの必要性・重要性がますます高まることを祈念しております。

愛知学院大学図書館情報センター
センター長 松岡 斉

CANの活動については、多大の恩恵を被っている一人として、これからもその活動が継続・発展していくことを望んでやまない。それぞれ違った個性をもった大学だからこそ、蔵書にも個性があり、自分の所属する図書館ではなかなか購入されない書籍がCANを通じて容易く入手でき、このコロナ禍において特にその役割が大きくなっていると思う。図書館という、大学の機能の中核的な機能の一つを通じて協力し、またそれぞれの違いを確かめられることも極めて意義のあるものであろう。

南山大学図書館 図書館長 山田 望

CAN私立大学コンソーシアムが発足して20年を迎えたとのこと、心からお祝い申し上げます。コンソーシアム価格による電子ジャーナルの共同購入からはじまった異なる大学図書館の連携活動が、途中頓挫・解消することなく、多方面の連携へと発展していったことに、大変励まされる思いが致します。コロナ禍による自粛で人間関係の分断、分離が加速する中、横のつながりを深めていくコンソーシアムの発想が求められています。是非ともますます機能を充実させ、「できるところから」はじめることで、「これほどのことができる」のだということを知らしめていって欲しいと心から願っています。

編集後記：対面授業が再開し図書館にも徐々に活気がでてきました。今回紹介しましたCANについては、2020年度に節目の20周年でありましたが、対面での催し物ができず非常に残念でありました。20周年のあゆみについては、東海地区大学図書館協議会誌に掲載予定であります。

名城公園キャンパスの近くに名古屋造形大学の建設が進んでおります。名城公園駅の周囲は文教地区のようになり、勉学にはとても良い環境であると思います。 【事務長 田島】

【図書館情報センター主催 第10回ブック・アピール・コンテスト表彰式】

今年で第10回を迎えたブック・アピール・コンテストは、36の作品が寄せられ、本学教職員5名による厳正な審査が行われ、入賞作品6点が選ばれました。

表彰式は日進キャンパスおよび、名城公園キャンパスにて行われました。

日進キャンパスの入賞者は12月8日（水）に、引田弘道学長より、名城公園キャンパスの入賞者は12月9日（木）に、後藤俊明副学長より表彰状と賞品（図書カード）を贈呈しました。

日進キャンパスの表彰式では、松蘭斉図書館情報センター館長（学長補佐）が同席しました。なお、入賞作品と書籍は、図書館情報センターのエントランスと名城公園図書館分館2階にて展示しており、入賞作品で取り上げられた書籍の貸出しを行っています。多くのご応募をいただきありがとうございました。入賞者の皆さま、おめでとうございます。



最優秀賞 山田 茉凜さん（宗教文化学科3年）
優秀賞 酒本 瞳さん（宗教文化学科1年）
優秀賞 高田 志穂子さん（日本文化学科4年）

佳作 鈴木 優女さん（健康科学科1年）
佳作 満井 美聡さん（健康科学科1年）
佳作 山崎 頌真さん（経済学科2年）